

GUNMA
HOUSING
AWARD
2018

優良賞

みなもによりそう家

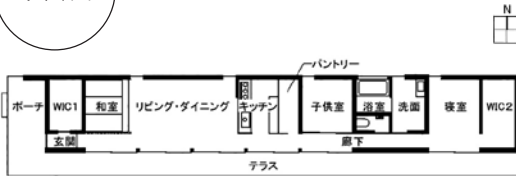
〈みなもによりそいえ〉

設計者 小島光晴建築設計事務所

施工者 株式会社 プラスケイアールエム



平面図



CONCEPT

設計主旨

この家は、夫婦と子どもの3人のための家である。敷地は旗状で、敷地の突き当たりには蓮池があり、その奥には大きな公園が広がる。家族の要望は、水辺の敷地を活かした暮らしたいということだった。それは周辺環境を考慮しつつ、なるべくエアコンに頼らず家族と心地よく暮らせる家でもあった。そこで、水辺の「眺めの良さ」だけではなく、「生活するための良さ」として、自然環境を積極的に取り入れることを考えた。

●夏について：①暑い時間帯の日差しが室内に入らない庇の長さとした。②水辺を通り抜ける冷やされた風を室内に取り入れる建物形状と内部空間。③室内の高い天井によって生まれる温度差換気、それを外に排出する傾斜天井と高い位置の窓。④風の入口を大窓とし、出口を小窓とすることで、空気に圧力差を生み流れをつくる。⑤陽の当たる南側の庭と陽の当たらない北側を短い室内でつなぐことで空気の流れ

をつくる。⑥南北の奥行きを薄くし、風が抜けやすい環境をつくる。

●冬について：⑦冬の最も高い日差しでも室内奥まで届く庇の長さとした。⑧床を黒系の材料にすることで室内に入る日射を熱エネルギーに変える。⑨横並びにした居室の全面に大開口を設け、建物の奥行きを浅くすることで部屋間の温度ムラを減らす。

●景観について：⑩景観に配慮し、南側の軒を下げることで建物の圧迫感を弱める。⑪自然に囲まれた中で落ち着いた雰囲気を与え、緑が映えるように屋根と外壁は暗めの色とした。

これらの良さを大切にすることで、省エネの家となり、ダイナミックな空間に包まれながら家族の意識を水辺へと向かわせた。そして、各部屋を南向きに並列させたことで、プライバシーを保ちつつ、他の家族とのやわらかい繋がりを感じる、明るく、心地よい家となった。